

Malawi News



発行 2015年3月6日

発行人 長根尾 和子

石川県出身

青少年活動 マラウイ

2014年10月～

k_naganeo@yahoo.co.jp

住所：Bakhita Primary School

P.O. Box 62, Balaka, Malawi



特集：

サファリに行ったゾウ！

そしてついに・・・

アフリカゾウを見たゾウ！

目次

1. 2015年のあいさつと今年の抱負

2. 特集 サファリに行ったゾウ！

☆ちょっと休けい アフリカをなめるなかれ!?

3. 活動報告

動き出した・・・と思ったら振り出しに戻る!?



2015年もどうぞよろしくお祈いします！

気づけば…3月！マラウイに赴任して半年が経とうとしています。驚くほどあっという間です。マラウイ通信しばらくストップしていましたが、長根尾元気に生きています！

2014年、この通信を読んでいただいている皆様にはたいへんお世話になりました。

退職、静岡でボランティア、福島で派遣前70日訓練、マラウイに赴任と目まぐるしく環境が変化しました。

自分自身は世の中の良い悪いの優劣を温かい気持ちで受け止めてきた

自分自身が毎日笑って日々を過ごせるように

自分のために頑張ることが出来るように

毎日を笑顔で迎えることが出来るように

一日の終わりに感謝する気持ちを大切に

自分自身が大切な人を守ることが出来るように

2015年もどうぞよろしくお祈いします。



長根尾 和子 2015年の抱負!

12月31日 23:30...
火事未すい事件発生!

2015年長根尾和子の目標
予期せぬ時こそ
冷静に
26年度2次隊
長根尾
和子
H27.1.1 元旦 MALAWI Balakalにて

「火事未すい事件発生!」
まさか大みそかの夜にそんなことが…起こったんです!原因はケトルの空焚きです。テンパった私は、外に持っていかようと思ったらケトルを落としてしまい…移しかえたばかりの熱湯をかけて消火。九死に一生を得た気分。凹んだ私は年越し気分にもならず静かに寝ました。
こういうことがよくある私、良く抜けてる私、そして何よりここはアフリカ!予期せぬことが起こるのなんて日常茶飯事。でも、そういう時に冷静に現状把握をし、次の一手を打てる人になって行かなきゃ、やっていけない!ということでこれを今年の目標にしました。

2014.12.28

Liwonde National Park



インパラ



イノシシの親子

アフリカきたぞー!!



アフリカゾウ



ウォーターバク

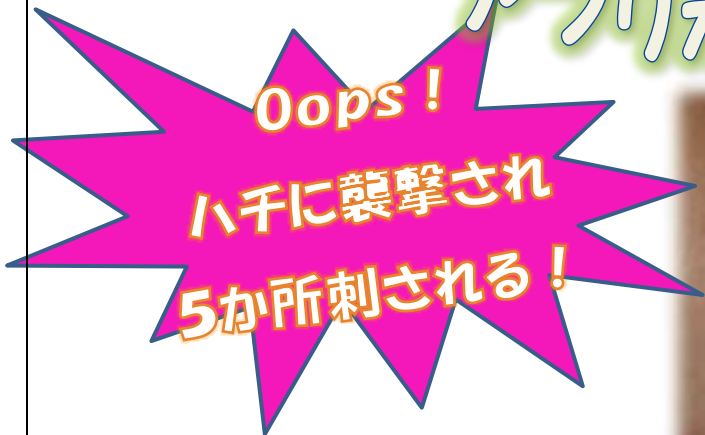


ホロホロ鳥

Malawi, Africa



アフリカをあなたどるなかれ!?

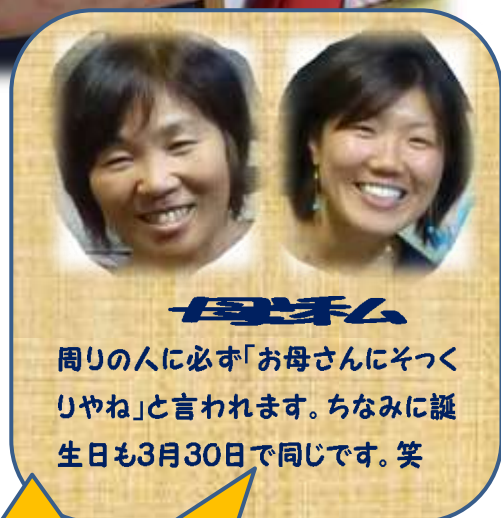


刺された直後は何も出なかったのに、刺されてから1週間後に急に体全身にブツブツが！母親に足のぶつぶつ写真をLINEで送ったら…

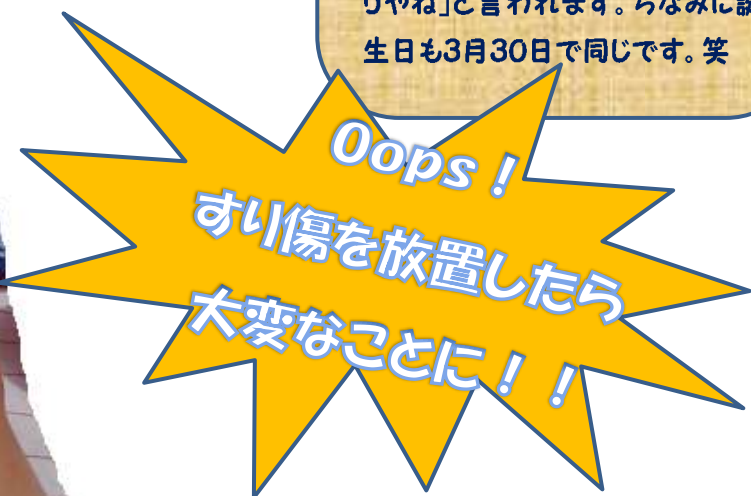
「なにそれなにシヤカ？」

「足がなにを刺したか？」

予想もしない返信内容に思わず失笑。この母にして私在りです。笑



周りの人に必ず「お母さんにそっくりやね」と言われます。ちなみに誕生日も3月30日で同じです。笑



長くつで歩くたびに皮膚が擦れて足首の周りがすり傷に…自然乾燥で治ると放っておいたら化膿はするし、何より足がはれて痛くて歩けなくなり…。**軽傷だからと甘く考えてはいけないと反省です!**



学校の前の道路です。雨が降ると川になります。今年は降水量が例年に比べ多く、洪水被害がでました。日本でもニュースになったようです。**私が住むバラカは被害がなかったものの写真の通りどしゃ降りの雨でした。しかもたったの数分でこうなります!自然の怖さを実感しました。雨のため1週間停電も続き、電気のありがたみと父の仕事の意義の大きさに気づくことができるいい機会となりました。**

ここはアフリカ!

鶏だってさばいちゃう!?

2700クワチャ
(700円相当)
で購入~!

1)絞めてから熱湯につける。
(さすがにこれは自分でできず)

2)羽をはぐ。

3)部位に切り分ける。

完成!なかなか上手!?



教育も国際協力も最終ゴールは、『自律・自立』なんじゃないか、と私は思います。児童・生徒が『自律・自立』して学び舎を後にし、いち社会人として立派に活躍できるように育てること、サポートすることが教師の役目。そういう児童・生徒を育てられる教員が増えていくよう、先生たちをサポートし、共に協力することが今の私の役割です。

そして、そんな私の目標は2つ。

- ①先生たちの指導力が向上し、児童・生徒が「わかる!」「楽しい!」「好き!」と感じられる授業が提供できるようになること
- ②児童・生徒が多感なこの時期に「一生懸命頑張ったらやれた!」「負けたけど、やりきったから悔いはない!」という経験をたくさん積ませてあげること

その理由は、**充実・満足・達成感**は、その後の個人の人生に大きく影響してくると強く思うからです。そして、その感情は、本気で取り組んだ人にしか味わえない。だからこそ「本気でやるってどういうことなのか」を経験させてあげたいと思います。

ここに来て疑問に感じている「なんで?」が2つあります。

- 1)50年以上援助が入っているにも関わらず、未だに国家予算の4割はドナーに依存している現実。マラウイが自分たちの足で立っていけないのはなんで?
- 2)最後に出てくることは決まって「because we are poor...」(だって自分たちは貧しいから...)物や場が与えられたらやるけど、その供給がストップしたらどうするの?一生待ち続けるの?

自分が感じている「なんで?」のこたえとして、『**個人の自立心を育むこと**』がその糸口ではないか、と思っています。

だからこそ、**多感なこの時期に「がむしゃらに、わき目も振らず一生懸命頑張ったらできた!」という経験をたくさん味わわせてあげたい。その経験が、誰かに頼るのではなく、「自分でも頑張れば絶対にできる!」という自信となり、自立心につながる。そういう一人一人の頑張りが、結果としてマラウイ国の発展に寄与していくのではないか、と信じています。**

H26/12/1 教員養成大学での3日間のワークショップに参加する。



このワークショップに参加し、エクスプレッシブアーツで最も求められているのは、児童・生徒にスキルを身に付けさせること、社会に出たときに現金収入を得る手段に、という意味合いが大きいことを知りました。

H27/1/9, 29 現地の先生とチームティーキングの授業をする。



どう指導していいかわからないと相談を受けた単元を現地の先生とチームティーキングと一緒に授業しました。「モデルの提示」→「何人かの生徒に前に来てやらせてみる」→「各グループやペアで課題に取り組む」→「発表する」→「授業の振り返りをする」良い流れが出来ていました。**チームティーキングを行ってよかったと感じたことは、準備段階で先生自身に(私自身にも)学びがあったことです。勉強になりました!**

H27.2.11 上司4人に私のアクションプランのプレゼンをする。



エクスプレッシブアーツ推進教諭を各校から1名ずつ選ぶ→学期を通してトレーニングを受けてもらう→各学校に戻り校内研修システムを立ち上げ、校内の先生にスキル伝達をしてもらう
帰国する2016年9月までに上記で示したことを計画している。という話をしました。ありがたいことに、その流れでやって行こうと go サインをもらいました!ワクワク!がんばるぞー!

H27/3/9 教員養成大学の先生に講師要請のお願いに行く!



エクスプレッシブアーツ担当
ミスターチブ

12月に自分が受けたワークショップを自分の任地でも開いてもらえないか、と直ぐにお願い。すると、ミスターチブだけでなく、課の先生たち6人全員がいて焦る。ヤバイ…。自分のアクションプランをプレゼンし、その後交渉に!お願いしてあったニーズ調査に使うためのアンケートの内容に関してアドバイスをもらい、話は順調かと思いきや…**問題発生!**講師代一人一日 15000 クワチャ(3000 円)・・・「参加者に謝礼はいくら払うんだ?」・・・表情が一瞬で変わった!こわーい!**「ただのボランティアにお金なんてない!それでもこの教科の質改善のためにやりたいんだ!」**と訴え、「同僚と相談して出直します・・・」と伝えパンチを食らって帰ってきました・・・。

所属先の年間予算6万円!
お金がないと呼べない!
全ては振り出し!?
がーん!

同僚は何ていうだろう・・・お前が言い始めたことだろ?って言われたらどうしよう・・・凹みながらビビりながらその夜ずっと考えました。

次の日は奇跡的に祝日!日中ずっと考えました。そして・・・

①現状を正直に伝える。②責任の所在を明確にする。③一人突っ走っても意味がないから彼らが求めるところまでやる、と考えが至りました。

結論として、講師代は上司4人と私で会議を開いて方向性を決定する。プロジェクトは続行する。参加者に対する謝礼は、なし。その代り、ワークショップから能力向上研修に名前を変える。午前で帰らす。という形をとることになりました。意味のある研修にするために、先生たちが現場で困っていることは何か?そして、お金が出なくてもやる気のある先生はどの人か?今は、時間がかかっても現場の声にもっと耳を傾ける、先生の見極めをすることに時間を割こうと気持ち新たに再出発することに決めました。現場の先生のニーズ調査が当面の課題です!

H26/2月後半～担当校8校の巡回始めました!!

どんどんフィールドにでて、一つでも多く授業を見せてもらおう!一緒にチームティーチングで授業をさせてもらおう!と意気込んでいます。授業を見せてもらう中で日本でもマラウイでも授業が上手な先生には共通点があることに気づきました。

- ①テンポがいい→児童・生徒がついてくる。だれない。
- ②生徒指導が上手→児童・生徒が先生の指示にしっかり従う。生徒が勝手にしゃべらない。カオスにならない。指示が通る。



←グラディスさん(28歳)

・教員歴5年

色々教えてほしいと彼女の方から話しかけてきてくれました。嬉しかった。月曜日(3/9)と一緒に授業をします。こんな先生に自分ができることを全力で協力したいと思います!がんばるぞー!



次回予告

特集: ながねお

モザンビーク島へ行く!